



全国鉄筋工事業協会（全鉄筋、岩田正吾会長）は1日、大阪市北区のリーガロイヤルホテル大阪で創立60周年記念祝賀会を開いた。全国から会員や関係団体の関係者、国会議員ら約530人が出席。節目の到来を祝うとともに、鉄筋工事業界の発展に向け思いを一つにした。

鉄筋業界発展へ思い一つに

創立60周年記念祝賀会 全鉄筋

冒頭、岩田会長は福利厚生費の別枠支給や社会保険加入推進などを踏まえ、「これまで動かなかった山が動き、建設業が質の競争に変わろうとしている」と述べた。活動の柱に技能者教育、外国人労働者との共生、技術革新対応を列挙。「未来を見据え、団結して課題に挑む。常に“粋でかつこい親方”であることを意識し、次世代に誇れる業界を築きたい」と決意表明した。

来賓の中野洋昌国土交通相は「鉄筋工事は構造物の骨格を担う最重要な業種だ。適正な賃金確保のため労務費の基準を新設し、官民一体で処遇改善に取り組む」と述べた。鰐淵洋子厚生労働副大臣は「若者や女性の就業促進を通じ、



総勢21人で鏡開き

自民党の見坂茂範参院議員は「少子化時代にどう担い手を確保するかが最大の課題。とにかく、もうかる鉄筋工事業」を実現しなければならぬ」と強調。伊藤孝江参院議員（公明党）と中山泰秀前衆院議員も祝辞を述べた。石破茂首相らが祝電を寄せた。続いて鏡開きが行われ、建設業振興基金（振興基金）の谷協暁理事長が乾杯の音頭を取り、歓談に移った。国土交通大臣表彰を受けた各組合幹部5人への祝いと還暦祝いも行われた。

建設業を選ばれる産業にしていく」と話した。公明党の斉藤鉄夫代表（前国交相）は「鉄筋との出会いは私の社会人の原点で、今も現場で提案した品質管理手法が使われている。これからも皆さんと共に頑張っていきたい」と語った。

スペシャルパフォーマンスとして職人の声を基に作詞・作曲した全鉄筋イメージソング「PRIDE」をシンガー・ソングライターの空さやか氏が披露。宮村博良副会長（60周年実行委員長）が閉会の辞を述べた。

